

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成22年度第2回定例会会議記録
開催日時	平成22年5月26日（水曜日） 18時30分から19時55分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	<p>会長：森忠 副会長：渡辺文子 委員：西嶋剛昭、定盛秀俊、古賀節子、須磨田純子、大島眞之、福島憲子、加藤真理、萩原建次郎、上田幸夫 職員：相原館長、山本主幹、近藤係長、寺嶋分館長、小笠原分館長、玉木分館長、平井分館長</p>
欠席者	幸内悦夫、千葉桂子、柴山隼、
議題	<p>(1) 第1回定例会の記録について (2) 報告事項 1 公民館職員の配置について（要望書） 2 行政報告 3 事業計画書・報告書について 4 公民館だより編集室報告 5 都公連大会企画委員会報告 6 都公連委員部会運営委員会報告 (3) 協議事項 (4) 事務連絡及び情報交換 (5) 正副会長の互選 (6) 公民館だより編集委員の互選 (7) 次回の日程について</p>
会議資料の名称	<p>(1) 事業計画書 1 ロビーコンサート・同写真展（柳沢） 2 やぎさわ探検隊2010（柳沢） 3 短期集中、若い女性のためのゆかた入門（柳沢） 4 第5回人形劇フェスタin西東京（田無） 5 田無カレッジ（田無） 6 健康講座・東洋の健康法に学ぶ（谷戸） 7 科学あそび講座（ひばり） 8 キッズ茶道講座（ひばり） 9 音楽ワークショップ講座（ひばり） 10 子ども日本舞踊講座（ひばり） 11 盲導犬についてのお話と歩行訓練体験（駅前） 12 生ごみが消える楽しさを味わう簡単コンポスト（駅前） (2) 事業報告書（21年度分） 1 障がい者学級・くるみ学級（柳沢） 2 障がい者学級・あめんぼ青年教室（田無） 3 心響きあう・あったかママスタイル（谷戸） 4 教科書文学再生計画（谷戸） 5 地域を歩く講座・身近な樹木に親しもう（駅前） 6 わがまちの財政はどう変わったか（駅前） (22年度分) 7 谷戸まつりの主催事業・民族舞踏とパントマイム</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

傍聴者	□有り（人） ■無し
会議内容	
<p>○会長： 定刻につき、開会する。</p> <p>(1) 第1回定例会の記録について</p> <p>○副会長： 記録の修正についての申し出等を確認する。</p> <p>○職員： 特になし。</p> <p>○副会長： 配付した記録のとおりとする。</p> <p>(2) 報告事項 1 公民館職員の配置について（要望書）</p> <p>○副会長： 報告を受ける。</p> <p>○会長： 職員の欠員補充については現在もされていない。補充は7月1日異動の際と聞いているが、大変心もとない状況でもあり、先月の会議での確認のとおり、要望書を調製した。18日に館長に手渡し、善処方申し入れた。</p> <p>○副会長： 質疑を受ける。 特になければ、終結する。</p> <p>2 行政報告</p> <p>○副会長： 報告を受ける。</p> <p>○館長： 会長からの報告のとおりで、職員の適正な配置に関する要望書を受領した。このことについては、後日教育部長にも報告する予定だ。</p> <p>○職員： 先月の会議の席で報告する必要のあった事項について漏れていたためにお詫び申し上げたい。 3月定例会の事業計画の議決に当たって、事業方針の文言について2点ほど修正を求められていた点があったが、その協議結果と会長への報告の上結論を導いていたことの報告を失念した。本件報告の上、お詫びしたい。 1点目は、第5項の2行目の表現の変更については、その場でも「了解」していたと思うが、意見のとおり「懇談会への参加を促し、」に修正した。 2点目は、第2項の3行目の公民館だよりに関する記述についてだが、席上で提案のあった「だよりについて、」という文言を「だよりの中でも」という表現に変更してはどうか、という提案であった。翌日関係職員及び館長と協議した結果、当初の提案どおりとしたいということを会長に報告し、了解を得ていた。理由は、会議の席でも説明したが、重点的に公民館だよりの重要性について伝えた</p>	

かったためだ。

理由はどうあれ、先月に報告を失念したことは申し開きができないことであり、以後気をつけた
い。再度お詫びする。

○副会長：

質疑を受ける。

特になければ、終結する。

3 事業計画書・報告書について

○副会長：

質問・意見を受ける。

○委員：

駅前公の報告書2件についてだが、参加者の感想欄に「公民館への意見」の記述がある。その中にも、他の公民館との連携に関する意見も出ているようだが、長期的に行う企画に出席したくても同じような時期に行われてしまうと1つにしか参加できないということだと思う。

こうした意見を吸い上げるためにも、意見を求めることは良いのではないか。他の館も参考にしてほしい。

○委員：

駅前公の盲導犬の講座は現地集合・解散との事だが、小学生の参加者は1人でも大丈夫なのだろうか。

○職員：

練馬区の訓練施設であり、保谷駅からは比較的近いと思う。小学生については、場合によっては親の同伴を求めることもあり得る。参加者が決定したら、会場までの案内図を郵送する予定だ。

○委員：

駅前公の地域を歩く講座だが、東大農場の観察を試みたようだが、参加者からも大変好意的な感想を得ているが、今後とも大いに利用してほしい施設だと思う。

○職員：

樹木博士に関する行事を小学校においても企画していると聞いた。このような企画は継続的に行っていく必要性は感じている。

○委員：

ひばり公の科学あそび講座だが、親子参加の講座になっているが、大人が手を出してしまい子どもの主体性を奪わないか心配がある。親は参加者ではなく、サポートに回るようなことは考えられないか。この講座は、子どもが主体であるということを募集時に記載できないか。

○職員：

担当の職員に伝えたい。

○委員：

ひばり公の音楽ワークショップの持ち物は何か必要か。また、3回目のみ夜間実施だが、特に意味があるのか。真夏の夜でもあり、何か特別な企画があるのか。

○職員：

持ち物はないが、動きやすい服装で参加してほしいということは注意事項に記載したい。
夜間実施についてだが、講師の都合であり、深い意味はない。

○副会長：
質疑を終結する。

4 公民館だより編集室報告

○副会長：
報告を求める。

○委員：
5月6日に開催した。
6月号の1面は、西東京シネマクラブについての記事の推敲を十分行った。サークル訪問は、谷戸公のシニア弦楽アンサンブル。7月号の予定は、1面は子育てドットコムの記事とサークル訪問は、保育付講座から誕生した柳ネーゼ。

ここ数回の会議に参加して感じたことは、編集方針についての合意がないのではないかという点だ。職員の説明では、過去に合意形成されていたはずだが、担当者が変わってもその点を引き継がれていないために不明になっているという。改めて、基準を確認しつつ、必要に応じて改定してはどうかということになっている。

公運審コラムの執筆順番については、近日中に整理して報告したい。

5月号の反省は、事業計画の校正中に、3月の会議の席で保留になっていた事業方針の文言が会議の席での発言内容と食い違っていたために、記事の内容との正誤についてが話題になってしまった。先月報告してほしかった。

○委員：
初めて編集会議に参加したが、編集方針が抜け落ちているという感じがした。まずはそこを摺り合わせる必要を感じた。基本方針を決めることは大切なことだ。
私は、大いに意見を言うことが大切な役割と思っている。長く関わっていると染まる部分も出るので、今のうちに感じることを率直に申し上げたいと思う。

○委員：
もう1点、会議の席で提案したことを報告する。公運審の意見や質疑が、紙面に反映することが少なく思う。ここで聞いたことを次の会議で編集委員に報告しても、既に直近の号は発行されてしまい、間に合わないためだ。できれば、この場に校正刷りを全委員に配付し、意見を直接出してはどうか。

○会長：
ゲラを会議に出すという意味かと思うが、何月号の事を指しているのか。

○委員：
例えば、今回で言えば6月号の校正紙を配るということだ。

○会長：
質問したい。その号のゲラを見て、何をさせようということか。
この会議の意味合いからして、公民館だよりに関する大きな方針転換等については意見を述べられると思うが、当日いきなり紙面のゲラを配付されても、なかなか意見は出せないのではないか。

○委員：

編集会議が月初めで、公運審が月末のためうまく意見を反映させられる循環にないと感じているためだ。

○委員：

7月号のゲラは、今でも見られるのか。

○委員：

まだ入校前のため、それは無理だと思う。

○委員：

今発言のあったことを少しでも解消するために、編集会議を月2回に増やしたはずだ。職員からは、意見は出ているのか。

○職員：

職員が校正作業を行っており、会議での意見を十分反映している。

○委員：

ゲラ刷りのことよりも、編集方針を検討してはどうかということに対しては、編集会議では大きな議論にはならなかったのか。編集方針がないというのは、大問題だ。

○委員：

存在していたようだが、引継ぎが上手くいっていないというのが正確かと思う。

○職員：

報告したい。館長決裁の申し合わせ事項として、方針は存在している。しかし、今も指摘のあったように、引継ぎが不明確になってしまい、結果として曖昧のまま編集作業が行われていたということが実態だ。

この際、改めるべき事項は改変したいと思っている。たたき台の成文化は、職員が行い、そのものを編集委員会で議論したいと思う。

○委員：

私たち公運審の役割は、そういう大きな方針について扱うということが本旨だ。

反面、紙面に対する意見を述べることも大切な役割だと思うが、今までもそうしていたように、ここで出た感想を次の会議で報告することで紙面に反映できないのか。

○委員：

今日ここで出た意見を来月の編集会議に報告しても、時間的な問題で直近の号には間に合わないということが言いたい。

○委員：

時間的にずれるのは致し方がないのではないか。

○委員：

せっかくこの場で貴重な意見を聞けたとしても、来月発行する号に反映することができないので、何とかならないかと考えている。

○職員：

例え、3校のゲラ刷りをこの会議で配付したとしても、この会議で出た意見を全て校正することは

無理な相談と考えている。

○委員：

公運審の会議を校正のペースに合わせるかどうかという発想を変えるべきだと思う。公運審委員から出た意見については、ある程度蓄積した後、改めて紙面の中で反省すべき点を考え直すことが良いのではないかと。

○委員：

初めて参加してみたが、余りに審議事項が多過ぎて、1つの事項に時間を大きく割くことができないのが実態だろう。

○委員：

先ほども発言したとおりで、会議の時間的なことや、校正のような事務的な作業日と方針を考える日が分かれていなかったという反省を踏まえつつ、月に1回では無理なので先月から2回にしたのだから、そのことを理解してほしい。

まだ、1ヶ月しか経っていないのに、評価してしまうのは早計だ。まずは、2回の会議をどのように運営するのかを話し合ってはどうか。

○委員：

了解した。2回の会議で、どういった内容のことを詰めていくのかを考え直したい。

○委員：

編集作業についてだが、紙面校正を口頭で意見を述べ出すとどんどん膨らんでしまい、時間を取り過ぎる傾向がある。個人個人の意見をペーパー化して蓄積・分類し、3ヶ月に1回程度振り返る程度が良いと思う。毎月反省していると過多になると思うので、参考にしてほしい。

○副会長：

質疑を終結する。

5 都公連大会企画委員会報告

○副会長：

報告を求める。

○委員：

5月21日に第2回の企画委員会が小平市で行われた。

座長は、西東京市の職員が務めることになった。大会テーマについての協議を行ったが、企画委員全員を6つのグループに分けて、自市の館の良い点、改善が必要な点、都公連に望むことの3点について討議をした。そこで出た意見を元にして、現在の三多摩の公民館に必要なテーマを探すことにした。来月には、テーマが決まるものと思う。

今年は、既に分科会の会場は5会場に決定し、企画委員の割振りも既に事務局が行うということで合意を得ており、全体テーマが決まれば、早速分科会の作業に入ることになる。

○副会長：

質疑を受ける。

特になければ、終結する。

6 都公連委員部会運営委員会報告

○副会長：

報告を求める。

○委員：

5月14日に行われる。今年度第1回研修会は、7月17日の13時30分から昭島市において行われることが決まった。

13時30分から14時までは全体総会として役員の改選等の報告を受け、14時から16時までが研修会になる。大東文化大学の片野講師を迎えて、公運審の役割、公民館の歴史、今後のあり方などについて解説してもらう予定だ。

○職員：

後ほど出欠確認をしたい。

○副会長：

質疑を受ける。

特になければ、終結する。暫時休憩する。

(19時10分休憩)

(19時20分再開)

○会長：

会議を再開する。

(3) 協議事項

○会長：

公民館の歴史を振り返る映像を見た後に、テーマに沿った学習をしてはどうかと考えていたが、この後の議事次第の都合から別の機会に行うことにしたい。

提案の趣旨としては、昨年为全国公民館研究大会の折に、戦後間もない時期に、各地の公民館長が地域を説得しながら公民館の必要性を訴えて歩く姿を記録にとどめた映像を放映した。正直、画面も音声も不鮮明な部分も多かったが、当時の切実な状況が伝わる大切なものと感じた。

こうした先達の苦労や歴史を踏まえた学習をしていきたいと思ったからだ。

○委員：

確かに画面は見にくいものであるが、当時の雰囲気は十分伝わる映像と私も思う。私が所蔵するフィルムの中には、その頃のものや最近作ったもの、各地域の県公連が作ったものなどがある。会長が見た作品は、フィルムセンターの所蔵品のために前回のような大きな催しの時以外には目にすることはできない作品である。別のものであるが、昭和天皇が全国を行幸した際に公民館を訪問したという当時のニュース映像などもあるが、公民館はビジュアル的には対象になりにくいために数が少ないと思っている。人に伝えるときには、視聴覚に訴えた方がわかりやすいのだが、小学生や中学生に説明するための資料としても、20分程度のビデオがあると良いと思う。西東京の公運審で考えてはどうか。

○会長：

貴重な意見とさせていただく。

本日はこの程度にし、近いうちに実現できることを期待する。

(4) 事務連絡及び情報交換

○会長：

事務連絡はあるか。

○職員：

8月の関東甲信越静公民館研究大会の参加者と7月の都公連委員部会第1回研修会の参加者を確認したい。

（「参加者」確認）

○委員：

以前も提案したが、研修の一環で他の市の視察を行うことを提案したい。

○委員：

都公連の委員部会の中でも、来てほしいという意見もあったと記憶している。

○会長：

以上で終結する。

(5) 正副会長の互選

○副会長：

会長から、会長等の交代について申し出があり、慣例に従い、後半1年間の各役職者を本日の会議で改選したいと思うが、異議ないか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認め、早速会長の互選についてを議題とする。

会長候補については、私から推薦したいと思うが、異議ないか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認め、次期会長候補を推薦したい。

次期会長には、大島眞之委員を推薦したいと思うが、異議ないか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認め、次期会長には、大島眞之委員が当選した。座長交代する。

（新会長着座、あいさつ）

○会長：

引き続き、副会長の互選について議題とする。

副会長候補については、私から推薦したいと思うが、異議ないか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認め、次期副会長候補を推薦したい。

次期副会長には、千葉桂子委員を推薦したいと思うが、異議ないか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認め、次期副会長には、千葉桂子委員が当選した。

ここで、森前会長、渡辺前副会長に、感想などを含めて退任の挨拶をお願いしたい。

（両氏あいさつ）

正副会長の互選を終結する。

(6) 公民館だより編集委員の互選

○会長：

編集委員の互選、を議題とする。

現編集委員から、いずれも交代の申し出があったので、この補充を行いたい。

編集委員候補については、私から推薦したいと思うが、異議ないか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認め、編集委員の候補を推薦する。

編集委員には、古賀節子委員、定盛秀俊委員を推薦したいと思うが、異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認め、古賀節子委員、定盛秀俊委員が当選した。

(古賀・定盛委員あいさつ)

編集委員の互選を終結する。

(7) 次回の日程について

6月23日(水曜日) 18時30分

於:田無公民館 第2学習室

○会長:

他に意見がなければ、閉会とする。